

例会報告

2月は「世界理解月間」です

第2231回例会報告議事録
日時 24年1月24日(火曜日)
場所 ホテル マークワン 我孫子
時間 12:15点鐘

ロータリーソング「奉仕の理想」
ゲスト: キム・ボヒョンさん(米山奨学生)

会長挨拶

志賀会長



本日は雪の中をおいでいただきまして、ありがとうございます。私のうちの所では5cmくらい積もっていましたが、道路の方は溶けていたのですが、そこまでが大変でした。

理事会で決まったことを報告いたします。

服部様の入会が承認されました。どうぞよろしくお願ひ致します。

2月16日のIMでは、新入会員の方に入会の動機と入会後の感想をお話していただきます。どうぞよろしくお願ひ致します。

親睦委員会報告

小池親睦委員長



特にございませぬ。

出席報告

渡辺出席委員長

21名出席 (全員で27名) 出席率77.8%

社会奉仕委員会報告

野田社会奉仕委員長



れんげまつりは昨年は地震、放射能で中止せざるを得ませんでした、今年はやる予定です。

日程は、できれば4月21日あたりを考えています。

塩毛副会長の方より、独身者が多いので、我孫子RCの会員の中でお知り合いに独身の方がいらっしやれば合コンを企画してもいいのでは、というお話をいただき、理事会で承認されました。ぜひご協力の方、よろしくお願ひします。

服部会員入会式



服部会員へバッジの授与



服部会員へ4つのテストの授与



服部会員より挨拶

「本日、無事入会することができました。ありがとうございます。
私の名前は役所広司と同じ「広司」と書きますが、広く司る「ひろし」です。よろしくお願ひ致します。

鈴木先生のご紹介で入会させていただきました。ロータリアンの一員として
恥ずかしくないように務めを果たさせていただきたいと思っております。

生まれは京都で、育ちは金沢で、大学は神戸でした。会社に入って、転勤で
37歳の時に東京に来ました。子どもが大きくなり、我孫子にマンションを買い、平成元年からこ
ちらに住んでいます。私の人生の中では一番長く住んでいる場所です。

柏で司法書士事務所をやっています。平日いろいろと仕事が入ることが多いのですが、極力、例
会に出席したいと思っております。どうぞよろしくお願ひ致します。」

第24回我孫子市新春マラソン大会について

星野会員



1月22日に我孫子市の新春マラソン大会が行われました。

残念だったのは、ゴール手前200mの地点で43歳の男性が倒れ、心肺停
止ということで病院に運ばれたことです。倒れたのが10時55分位で、6時半
頃、心臓が動き出したという連絡があったのですが、意識は戻っていません
でした。今日の段階でも意識は戻らず、植物人間に近い状態になる可能性が
あるとのことでした。初めてこのような重大事故が起こったので、次回はもっと
考えないといけないと思っております。

皆様方には新春マラソンに応援していただき、ありがとうございました。

上村晃一会員より

新春マラソン大会にうちの次男坊が出まして、40歳以上で優勝したようです。

ニコニコBOX

お名前	メッセージ	金額
井上会員	先週欠席のため。家内が富士山を見たいとのことで温泉行きしてきました。	1,000円
上村晃一会員	息子が我孫子新春マラソンで優勝(40歳以上)。	1,000円
鈴木会員	服部さんが皆様の歓迎の中、入会できましたこと感謝いたします。	3,000円
星野会員	第24回我孫子市新春マラソン大会応援ありがとうございました。	1,000円
当日計		6,000円
今期累計		154,000円

幹事報告

丸田会員代行



- ・2月のロータリーレート 1ドル=78円
- ・2月以降の行事予定を来週配布します。
添付書類を体裁整えて別紙で作成。

卓話

瀧日会員



突如また卓話をやることになりました。

最近、銀座には中国からの観光客が多くいらっしゃっていて、銀座を観光する時に3Mというキーワードがあるそうです。三越と松屋とマツモトキヨシだそうです。マツモトキヨシで漢方薬を買うそうです。漢方薬はもともと中国から来たものです。なぜ買うのかというと、安心で品質がいいからだそうです。本家本元が中国なのに、日本の漢方薬の方が信頼感があるのだそうです。工場の空洞化等が激しい勢いで進んでいますが、こういう話を聞くと、いろんな意味で日本の企業には道があるのではないかという気持ちになります。(次ページへ続く)

日本のりんごは中国のりんごの3倍位の値段で売られています。中国の人口の1%が大金持ちだそうです。それは東京都の人口と同じ位の人数の人が大金持ちということになります。食に関して、中国原産のものについて中国人自身が信頼感が失っています。そういう所に、生きる道があるのではないかと感じました。

東京大学経済学科教授の伊藤元重さんの講演会に行ってきました。リーマンショック以後、世界が変わった、という話でした。従来の経済状態と比べると全く様変わりしている、今変化の過程の中にある、という話でした。もうひとつ、日本政策金融公庫の村上世彰（よしあき）さんの話も聞いてきましたが、やはり、今、大きな変化の課程の中にあるが、特に中小企業はどう生きて行くべきかというようなお話でした。二人ともキーワードは「変化」です。

現在我々が置かれている状況には、色々なファクターがあります。

変化への対応の典型的な違いは、コダックと富士フィルムです。コダックはつい最近、破産しました。コダックの技術者がデジタルカメラを開発したにもかかわらず、フィルムの敵だという理由でコダックはデジタルカメラを切り捨てました。フィルムにこだわるあまり、他の技術を切り捨ててきました。富士フィルムは先行きフィルムは駄目だと認識し、デジタルカメラに手をつけました。テレビ、液晶の表面の保護膜も作りました。ビジネス機器、化粧品、医療関係等に事業を展開し、現在、フィルムの売上高は全体の1%だそうです。変化に対応できなければ退場せざるを得ない典型的な事例だと思います。

変化の環境の要因としては、中国製品、円高、長期間のデフレ、公共事業の縮減、大震災等があります。円高については、自動車メーカーにとっては1円の違いが百億レベルの売上高に影響します。一方、原油の輸入メーカーは1円の違いで百億くらいの粗利が出ます。

変化をビジネスチャンスと考え、成功している例をいくつか紹介したいと思います。変化を認識し、対応して成功した例です。

川口市にある従業員が20名ちょっとの中小企業はソフトウェアのコピー防止用の装置を製造していました。しかし今やソフトのコピーなんて当たり前になってしまい、主力製品が売れなくなりました。そこで情報漏洩防止の装置を開発し、今大成功しています。

大阪の乳母車を作っていた中小企業は、高齢者向けのショッピングカートを開発しました。腰掛けにもなるショッピングカートが大当たりしました。

香川県のスリッパメーカーは高齢者向けの靴を考えました。軽くて、簡単に留められて、やわらかい靴を作り、よく売れるようになりました。

アメリカにはウォッシュ&ホールドという洗濯屋がありますが、それを日本で始めた人は、プライベートを守る為に袋に入れるようにして、かなり浸透しているそうです。

印刷については、最近では自分で書類を作れるようになり、印刷件数が減っています。その中で、偽造防止印刷を始めた人は印鑑証明の用紙や商品券の印刷等で成功しています。

変化をビジネスチャンスと考えて、変化を味方につけて対応している事例をご紹介します。



キム・ボヒョンさんへ米山奨学金を授与

ロータリーの友 事務局 ホームページ www.rotary-no-tomo.jp
メールは web@rotary-no-tomo.jp

環境NPOオフィス町内会が中心となって2005年に立ち上げた新たな間伐促進活動が「森の町内会」です。この活動に賛同して「印刷用紙」や「コピー用紙」を使用する企業は2009年9月現在、92社にのぼり、その環境貢献として促進される岩手県岩泉町・葛巻町・青森県三沢市での間伐は、年間30haの規模になっています。グリーン購入大賞で大賞を、山村力コンクールで林野庁長官賞を受賞しています。



この印刷物に使用している用紙は、森を元気にするための間伐と間伐材の有効活用に役立ちます。

我孫子ロータリークラブは、環境貢献として、「森の町内会」を応援します。